

はじめに

12月早々に伊吹山に初冠雪が見られ、湖北の地もこの冬は大雪に見舞われました。今年度は世界中で異常気象による災害が後を絶ちませんでした。長浜市においても何度となく台風が接近し、市内のあちこちで甚大な被害をもたらしました。私たちは人間が自然の一部であることをもう一度認識し、失われつつある自然の営みを守らなければいけません。未来に生きていく子どもたちには、今残されている自然のすばらしさを体験し、人間と自然の好ましいあり方を自分自身で見つけてほしいと思います。

私たちの住む滋賀県は、琵琶湖をあずかり、古くから琵琶湖と共に暮らしてきました。それ故琵琶湖に対する思いは深く、まさに環境教育推進県であります。長浜市でも、滋賀県の一員として長年先進的継続的な取組をされてきました。長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」の取組もその一つです。今から31年前に環境に関心を持ち、身近な問題の解決に向けた地域づくりの将来のリーダーを育成することを目的に結成されました。昨年度は結成30年という節目の年となり、様々なイベントを行いました。これまで多くの隊員が環境と関わり、親子で環境教育に参加しているという話もよく聞きます。この継続した取組、自然に触れ、自然を感じ、自然を観て考えるという五感を通しての活動が、環境に興味を持ち、自分から積極的に自然に関わっていく意欲や態度を育ててきていると確信しています。この経験が環境に対する鋭い感性と行動力を備えた子どもたちの育成の基盤になります。また、チームで活動し、交流することで、人とのつながりを意識し問題を解決し、お互いが高まっていく力も育つと考えます。

さて、平成29年度の長浜市水生生物少年少女調査隊は、昨年度に引き続き各校の特色を生かしながら近隣河川の水生生物の調査を行いました。昨年度は30周年の記念のイベントも開催されましたが、今年度は原点に戻り、地域の環境を調査するというを中心に活動しました。8月には、各校の調査報告会として「交流会」の開催を予定していましたが、あいにくの台風の影響で残念ながら中止いたしました。発表の準備をしていただいた学校は本当にありがとうございました。会場等の都合で今年度は発表会が開催できませんでしたが、子どもたちにとって調査結果をまとめたことや発表練習に取り組んだことは貴重な経験になったと思います。交流会は各校が集い、自分たちの学校の近隣河川と他校の近隣河川の水環境の違いを知る機会であり、このことがさらに自分たちの周囲のより多くの調査地点での調査へ発展していくことを期待することから、次年度も運営等を工夫検討しながら継続していきたいと考えます。

この度、第31期長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」調査報告書をまとめることができました。多くの方々に読んでいただき、地域の水環境の現状を知っていただくとともに環境問題に関心を持っていただきたいと思います。また、今後とも子どもたちの活動にご理解とご支援を賜りたく存じます。

最後になりましたが、長浜市水生生物少年少女調査隊の諸活動に対しまして、保護者・地域の皆様、水生生物調査指導講師の皆様、長浜市環境保全課の皆様にご支援、ご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

長浜市水生生物少年少女調査隊指導者連絡会
代表 日比浅嗣

長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」について

私たちの住んでいる長浜市は、日本一大きな湖「琵琶湖」のほとりにあります。私たちは、琵琶湖から汲み上げられた水、地下水、伏流水などを毎日利用しています。

家のまわりや遊び場、学校への行き帰りの道ぞいには川が流れ、そのすべてが琵琶湖に通じています。川の水がきれいであることは、琵琶湖がきれいであることにもつながります。しかし、川の水が汚れていると、琵琶湖も汚れてしまいます。

私たちの暮らしと地域を流れる川、そして琵琶湖はとても密接な関係で結ばれています。川をきれいにするのも汚すのもそこに住む私たちの暮らし方しだいなのです。

■活動の目的

子どもたちが川で遊び、楽しみながら川の中にすむ生き物を調べることによって、川の実態を知り、環境を見る目を養い、身近な環境への関心を高め、環境づくり活動のリーダーを育成することが目的です。

■組織の概要

長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」は昭和62年に結成し、長浜市から河川の調査を受託しています。

毎年、市内小学校の児童を対象に隊員を公募し、各小学校の同調査隊の指導教諭（長浜市水生生物少年少女調査隊指導者連絡会）が活動を指導しています。

平成19年度から浅井・びわ地域の小学校、平成23年度からは虎姫・湖北・高月・木之本・余呉・西浅井地域の小学校が新たに参画し、第31期目にあたる平成29年度は、27校473人の隊員と39人の教諭が長浜市内各地で河川の調査を行っています。

調査隊結成以来、平成29年度で延べ6,915人の児童が調査を実施しました。

■活動のねらい

子どもたちが自ら川に入り調査し、素直な目で川の実態を知ることで、川を汚さない行動や自然を大切にすることを目指す。

また、これらの活動を広く知っていただくことにより、川を汚さない・自然を大切にすることを目指す行動が市民全体へと波及することをねらいとしています。

■活動の概要

川の中やそのまわりにはいろんな種類の生き物がすんでいます。川の水の汚れ具合によってその川にすむ生き物の種類が違います。きれいな川にはきれいな水を好む生き物が、汚れている川には汚れに強い生き物がすんでいます。

そこで、隊員たちは学校区内の川に入って、そこにすんでいる生き物の種類や数を調べて、その川の汚れ具合を判定しています。

また、普段の生活や活動を通じて身近な環境について気づいたことや感じたことを「環境日記」につけています。

■第31期（平成29年度） 活動内容・参加内容

1. 水生生物調査（詳しくは、4ページ以降）

小学校ごとに校区内の河川の調査ポイントを調査しました。川の生き物の種類や数などを調べて川の汚れ具合の調査などを実施しました。

2. 長浜市水生生物少年少女調査隊交流会（詳しくは、116ページ以降）

各校の隊員が相互に刺激し合い、今後の環境学習への取組の促進を目的とし、平成29年8月8日（火）に開催を予定でいましたが、台風のため今年度は中止となりました。

今年度は交流会の発表校にみずすまし活動にかかるクイズを考えていただきましたので、そのクイズを116ページ以降に掲載します。

3. 長浜市水生生物少年少女調査隊指導者研修会（詳しくは、119ページ）

日 時 平成29年5月9日（金）15：00～16：30

場 所 びわ南小学校図工室

参加者 指導教諭15名

内 容 水生生物調査の指導の仕方や実際の採取方法について、八木 善勇 氏による実技を交えた研修会を行いました。

講義：水生生物調査の実施について

実技：水生生物調査の採取方法について

4. 「子どもたちが調べる水辺の生き物」調査報告書の発行

以上（1.～3.）の活動結果等を取りまとめ、調査報告書（本書）として発行しました。